阿須山中土地有効活用事業地内におけるコクランの移植について（報告）

1 移植に係る経緯

11月27日に加治丘陵の自然を考える会・飯能（以下「考える会」という。）から飯能市に情報提供があり、12月11日に現場確認を実施した結果、コクランの生育が確認されたため、速やかに埼玉県へ報告するとともに、一般社団法人飯能インターナショナル・スポーツアカデミー（以下「事業者」という。）へ埼玉県希少野生動植物の種の保護に関する条例に基づく対応を求めました。

2 移植作業について

12月18日に、埼玉県並びに飯能市の立ち合いのもと、11月20日に移植作業を実施した事業者が依頼する造園業者により、慎重かつ丁寧な移植作業が実施されました。

なお、事業地内においては工事が進んでいることから、はんのう市民環境会議並びに考える会に対しましては、安全管理上の理由により、事前に立ち合いを求めることはしない旨を連絡しました。

3 移植後の対応について

【事業者】

移植後3年間は定期的なモニタリングを実施し、調査結果を年1回以上、埼玉県等へ報告する。

【飯能市、はんのう市民環境会議】

事業者が実施するモニタリングに立ち合い、生育状況等を観察する。

※ 今後の残置森林の保全等については、飯能市、事業者、はんのう市民環境会議において協議します。